

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市太白区文化センター
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 142,489人(前年度比 92.08%) 平成29年度 154,742人 平成28年度 146,869人 平成27年度 147,140人</p> <p>《事業》 (1)「第4回秋のミニコンサート～100歩目のあしあと～」 平成30年10月13日(土) 地域の方に音楽を身近に感じてもらう場の創出 来場者数 約 270人 (2)「楽楽楽ステージパフォーマンス2018」 平成30年11月11日(日) 地域の文化活動団体による演目発表 来場者数 約 400人 (3)「楽楽楽文化祭2019」 平成31年1月27日(日) 文化センター全館を活用した体験型事業 来場者数 約 1,100人 (4)「楽楽楽ミュージックフェスティバル2019」 平成31年3月3日(日) 太白区内の学校・合唱サークル団体による合同演奏会 来場者数 約 1,500人</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 188,312千円 (186,907千円) ・ その他市が負担した費用 106,542千円 (130,340千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 33,708千円 (35,362千円) ・ その他収入 6,967千円 (7,936千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》 平成31年3月に利用に関するアンケート調査を実施し、197の団体・個人から回答を得た。アンケート結果については、財団ホームページにおいて公表し、ご意見ご要望への回答は1階ロビーに掲示した。また、「ご意見箱」を総合受付に設置し、日常的に利用者の声を把握した。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	鑑賞事業やワークショップ事業及び住民参加型事業などに加え、今後、劇場やホールに求められる事業として「地域貢献型・社会包括型事業」に取り組んでいる。自主事業を通して、地域団体との連携や自主的な活動への支援を超えた地域貢献を果たしている。	27/24
II 施設の運営管理体制	楽楽楽ホール催事開催中に大規模地震・火災発生等を想定した避難訓練を、仙台市生涯学習支援センターと仙台明治青年大学、仙台市太白消防署と協力して実施し、避難誘導や連携体制の把握及び強化に努めた。また、所轄消防署の講評を活かしながら、ホール利用者向けの避難経路図を作成することで、各防災訓練を通じた安全管理を行った。	31/30
III 施設・設備の維持管理	年1回の自主点検のほか、日常的に館内を巡回し破損や不具合の有無について確認を行っており、予防保全に努めている。 本市の環境行動計画に則った取り組みを行っており、特にごみの減量や分別の呼びかけについては、施設全体の協力体制のもと積極的に行っている。	19/19
IV サービスの質の向上	全職員を対象とした接遇研修も定期的実施しており、併設施設を含めた施設全体の利用者への案内や相談を実施している。 利用者会議は市民センターと合同で実施し、生涯学習事業の視点からも運営管理の充実を図っている。	28/28
V 施設固有の基準	これまでの施設管理の経験を活かしながら管理規約や関連法令等を把握し、施設所管課及びたいはく管理組合との連絡調整に努めている。 近隣の長町駅前プラザで長町駅前商店街振興組合が行っている事業「長町ビッグバンドフェスタ」にも共催として参加し、文化拠点としての役割を担っている。	7/7

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
特記事項なし	
加点評価	
	—

四 評価総括

《指定管理者（（公財）仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>〔施設の使用許可等について〕 条例等の規定を遵守するとともに、市民利用施設予約システムの適正な運用に努め、施設の使用許可にあたっては公平・公正な取り扱いを行いました。使用料については、特に厳重に取り扱い適正な収納事務を行いました。また、個人情報については、財団が作成した情報セキュリティポリシーをもとに、組織全体で適切に管理するよう取り組みました。</p> <p>〔施設の維持管理等について〕 お客様に安全かつ快適にご利用いただけるように、日頃から施設の見回りや設備の点検を行い、危険個所の早期発見に努め、不備がある場合は速やかな修繕を行い事故等の未然防止に努めました。また、平成30年度は、懸案事項であった「楽楽楽ホール舞台機構着床ゴム更新工事」と「外国製ピアノオーバーホール」を実施しました。施工にあたっては、仙台市所管課、工業者との連絡調整を緊密に行い、工程等の調整について臨機応変に対応し、施設を利用するお客様への影響が最小限になるよう努めました。</p> <p>〔自主事業の実施について〕 地域文化施設のシンボルである楽楽楽ホールをより身近に感じてもらうことを目的に、普段は見ることができないホールの裏側を見学し、実際に照明機材等に触れ、舞台への興味関心を深めてもらう「ホールのうらがわ体験ツアー」を夏休み中の小学生を対象に実施しました。当日は、幅広い年代の小学生たちが舞台裏の「なぞ」を解きながら探検しました。照明設備等の操作体験では、実際に自分の好みの色などをつくり楽しんで取り組んでいました。また、平成30年11月には、楽楽楽ホールの特性を活かした可動ステージと出演者自らが舞台構成を考え多彩なパフォーマンスが繰り広げられる「楽楽楽ステージパフォーマンス」を開催。仙台の1年の間行われている「お祭り」をテーマに様々なパフォーマンスで表現し、幅広い世代の皆様楽しんでいただきました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>< 施設の運営管理について > 当施設は、図書館や中央市民センター、児童館のほか商業施設や高層住宅棟が一体となっている本市唯一の複合施設であるため、管理が複雑であるほか部屋数も利用者数も多い。各部屋ごとの使用団体を入念に確認し、初めて利用する団体には、利用日直前に専用の駐車場がないことのお知らせや熱中症等の注意喚起、利用までのながれの説明を改めて実施しており、丁寧な市民対応をしていることがうかがえる。</p> <p>< 施設の維持管理・安全管理について > 業者による見回りや定期点検の他に、職員が日常的な目視点検を実施することで不具合の早期発見による施設の維持管理に努めている。過去に外国製のピアノの弦が急に破断する事態があり、施設管理上の瑕疵により発生した事故の場合、施設管理者に賠償責任が及び多額の損害賠償が発生する可能性もあることから、すでに加入している賠償保険に特約の追加を提案し、不測の事態への対応に積極的に備えている。</p> <p>< 主催事業について > 鑑賞事業やワークショップ事業及び住民参加型事業などに加え、今後、劇場やホールに求められる事業として「地域貢献型・社会包括型事業」に取り組んでいる。平成30年度は、太白区を拠点として活動している団体等と協力し、地域住民のみならず障害者や乳幼児親子など誰もが気軽に多様な文化芸術に親しんで体感することを目的とした自主事業「楽楽楽文化祭」を開催した。</p> <p>< 併設施設との連携について > 当施設は公共・商業・住宅が一体となった本市唯一の大規模な複合施設であるため、建物に共用設備（受変電や給排水等）が多く含まれている。共有部分や公共施設部分で発生する様々な設備・運営管理に関する問題を、「たいはつくる管理組合」と迅速に情報共有しながら、問題解決に向け日常的に協議し、改善できるよう取り組んでいる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：太白区まちづくり推進部まちづくり推進課